

ボクたち、4年生になったら、みんな学校の授業で「堀川の歴史」のこと勉強あるんだよ。

3つもの固い岩山を切り抜くのに、延べ10万人以上の人が、かかわる程の吉田切畷は難工事だったんだって。

ノミとツルハシで掘った12kmの堀川運河

波瀾万丈の生涯をたどる

あらすじ



洪水で困りはてる村々を視察する福岡藩初代藩主 黒田長政 元和6年(1620)



堀川開さくで治水を図ろうとする栗山大膳と運河をつくる農民。元和7年(1621)2年8ヵ月後、藩主長政が急死の為工事は128年間中止となる。



享保年間(1716~1736)の大ききんの後で藩政たて直しをせまられた6代藩主 黒田綱高。

遠賀川のたび重なる洪水で水害になり、食べ物がなく苦しむ人々。



代官に遠賀川の治水やかんがいを願う村人たち。



再開された堀川開さく工事を指揮する郡総司 柳橋又之進。

183年後、12kmの遠賀堀川が完成した。



「宝川」と呼ばれた堀川は、地域の人々の「あかあすの川」、「あやつの川」でした。

ほりかわすじしょうもく

堀川筋条目 (このきまりを守って、堀川の水を皆で大切に使った)

- 堀川の土手をかけてに切って、自分の田に水を引いてはいけない。
- 堀川の水は、食事の用意や飲み水に使う人がたくさんいるので、土手に牛や馬をつないではいけない。
- 堀川の水は、どの村もこまらなように分け合って使うこと。
- 堀川を通る船は、1そうにつき50文(今のお金で約1,000円)はらうこと。
- 水門には、水番人をおき、水のちょうせつをすること。